

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先	025-223-7236
------	--------------

年度	令和6年度		
施設名	新潟市児童センター	所管部・課	中央区健康福祉課
施設の設置目的	児童センターは児童に健全な遊びを与え、児童の健康及び体力の増進を図り、情操を豊かにすることにより、児童の健全育成に資することを目的とする施設である。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	R6.6.1
歳入		正職員	1	修正日	
歳出	837	会計年度任用職員	4	評価日	R7.3.31

No.	視点	目標	評価指標						参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価
			項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6目標	R6結果				
1	市民	児童・乳幼児と保護者の来館者数の増加	1日平均来館者（単位：人）	45	47	55	55	62		子育て支援事業など各種イベントの充実 日々、月々、年間の統計	ローラースケートができること、昼食を取ることができ長時間遊ぶことができることなどが魅力となって、来館者は昨年度より増加した。	B：達成
2	市民	申込制イベントの参加率の増加	申込制事業参加率（単位：％）	76	96	91	90	73		児童センター便り配布 市報掲載	市報やガイド（便り）、ネットを見て申し込むことが多いが、職員からの働きかけで参加を決めることも多いので、今後も積極的に働きかけていく。また、新潟市のLINEも活用していきたい。	C：未達成
3	市民	来館者の満足度	アンケートによる児童センター満足度「とても満足」80％以上（単位：％）	86	84	82	80	81		来館者アンケート実施	アンケートでは「いつも親切にしてくださる場所」で感謝しています。」という記述があった。来館者に寄り添った対応の成果でもある。	B：達成
4	業務	利用促進のための広報の充実	職員による訪問PRを10回以上（単位：回）	11	7	10	10	10		子育て支援講座、新1年生保護者説明会、市内子育て支援施設訪問広報活動	ガイド配布時や小学校の入学説明会時にPRした。どの施設もPRのための時間や場を快く提供していただいた。子育て支援施設へのPRも進めていく。	B：達成
5	業務	災害及び、事件・事故発生時の対応強化による安全安心の確保	避難訓練の実施（単位：回）	2	2	2	2	3		防災・不審者対応避難訓練	万代市民会館の避難訓練に加えて、児童センター職員で、不審者対応避難訓練、地震津波対応避難訓練を行った。	B：達成
6	業務	学生ボランティアの確保	参加人数（単位：人）	50	10	48	30	48		大学・専門学校の学生ボランティア担当窓口へ働きかけ	中央区の6つの専門学校や大学に学生ボランティアを募集したところ、数多くの学生ボランティアが参加してくれた。今後も早めに各校担当に働きかけていく。	B：達成
7	人材	地域組織活動グループとの連携	連携事業平均参加人数（単位：人）	9	10	13	13	13		連携・強化のための打合わせ・会議の設定	各イベント実施前後には、綿密な事前打合せと事後の振り返りを行った。	B：達成
8	人材	職員の自己改革や意識改革	研修会参加（単位：回）	33	20	17	10	16		研修会への積極的な参加 児童センター内研修	新潟市児童センター等合同研修会や県児連主催の研修会等への参加により、研鑽を深めることができた。	B：達成

取り組みについて（目標設定の考え方など）	総合評価（評価を踏まえた課題分析・方向性など）
来館者の安心や安全に十分配慮して運営するとともに、職員自らの資質・指導力向上に努めるとともに、地域組織活動グループや小学校、他施設と連携し、事業の充実に努めます。また、日々の施設遊具の点検や遊びの見守りを確実に、健全な遊びの場をこどもたちに提供します。 「楽しかった、また来たい。」という思いをもってもらえるよう、日々、利用者それぞれの状況に応じた言葉かけをし、心のこもった丁寧な対応をします。	来館者数は、昨年度より増加しました。ローラースケートができる、昼ご飯がセンター内で食べられるといったこと、また、雨や雪が降るなど天気の悪い日ものびのびと遊ぶことができるということが魅力となっているように思います。 改めてこどもたちのあそび場、子育て支援の場として必要な場だということを感じました。 利用者アンケートの結果、「とても満足」は81％で目標を達成しました。「とても満足」「満足」という肯定的な満足度は9割を超えていて、高いです。集会室の玩具やゲーム類及び平日午前の乳幼児コーナーの遊具を増やしたり、来館者の状況に応じた言葉かけや丁寧な対応に努めたりした成果だと考えます。こどもが安心して楽しく遊べる環境づくりや対応をすることは大切です。 次年度も来館者が安全に安心して楽しめ、「また、来たい。」と感じる児童センターの運営に努めていきます。